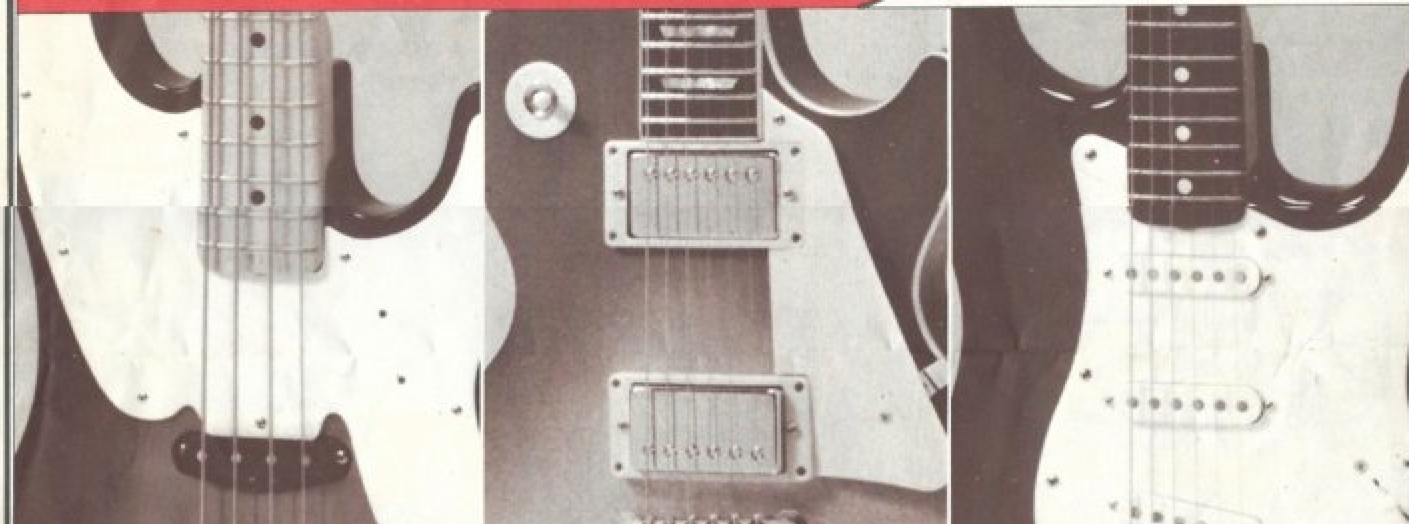
the Orange news







E.S.R.G.からひとこと…

★ORANGEの目標は、コストパフォーマンスの高い商品を製作するプロジェクトです。みなさんに、この価格で、これほどのものが出来るとわかっていただくために、E.S.R.G.のスタッフはガンバッています

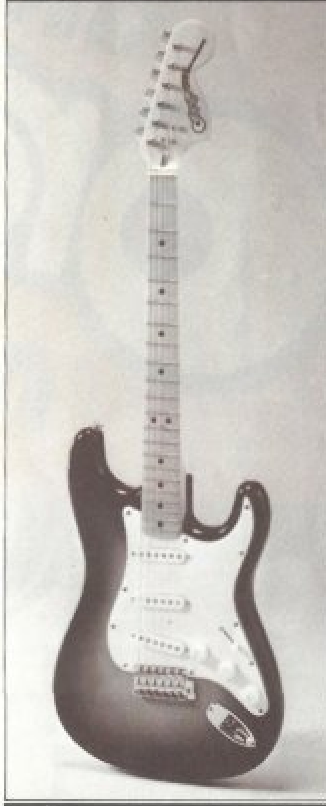
★より楽器らしい心を願って製作しております。ミュージシャンのハートを音として表現できる様に開発しました。

★君がこの音、このフィーリングと思った時に「そくざ」に反応することを基本方針に設計しております。

★E.S.R.G.はミュージシャンの心のつながりを大切にしてゆきたいと思っています。楽器としての全体のバランスの良さはムロンの事です。E.S.R.G.、オレンジのこれからの商品にもこの基本方針は変らずに守ってゆきたいと思います。

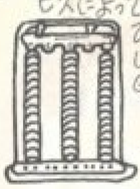
electric sound research group

OS-550
¥55,000



★ビブラート・ユニット

狂いが非常に少ないビブラート・ユニット。そして本部の２本のビスによって微妙なアーム・バランスが出来るのです。ひとつ、君に合った、ビブラート・バランスにチョーセンしてみて下さい。Goodなビブラート・サウンドをお楽しみ下さい!



★ ★

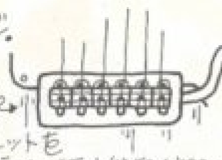




★ ★

ひきやすい11ピッチブリッジ。

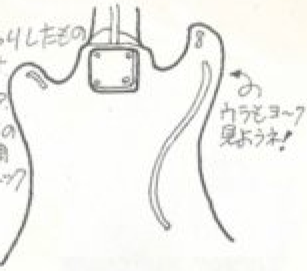
絃と絃の間隔が、この11ピッチの間隔だとエンソウしやすいのです。（フェンダー社のもこれだそうですよ。）



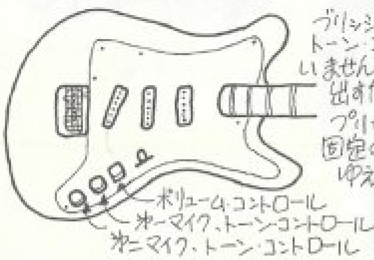
一度おためし下さい。ビブラート・ユニットを固定するビスの調整で、かなりビブラートの狂いがなくなるのです。チョーセンしてみて下さい。もちろん、工場から出来上ったものは、調整してあるけど!!

★ ★

4点ドメ スクエアータイプのがっちりしたものになっています。ネックの取りつけ角度については、E.S.R.G.のリペアマンに相談してネ!! プレイヤーの好みがあるのでネ。これを調整できるのが、デタッチャブルネックの良さだよネ!!



★ ★



ブリッジ側の第3マイクにはトーン・コントロールは付いていませんが、これは特にHiを出すために、ハイパスのプリセットになっているため、固定のトーンなのです。ゆえに、コントロールはないのです。

★ ★

フレットはチョーキングしやすい巾広のE.S.R.G.オリジナルの白洋銀混合のフレットになっています。

★ ★



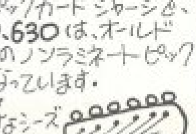
このボリューム、トーンボリューム、切換スイッチの回路部分に、ノイズをカットするために、シールドがほどこされています。マイクの付近には、シールドがほどこされてないのは、マイクの巻線にはシールドがほどこされているために、必要がないのでアル。これでノイズはカットだヨ~!

OS-550,530は、白・黒・白のラミネート ピックガード シャーシで、**OS-600.630**は、オールドタイプの白のノンラミネート ピックガードになっています。

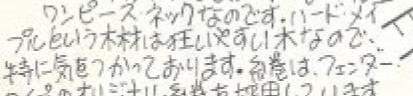
★完全ワンピース・ネック

★ ★

E.S.R.G.のほこる高度なシーズニング技術によるクルイのない完全ワンピース・ネックなのです。ハード・メイプルという木材は狂いやすい木なので、特に気をつかっております。糸巻は、フェンダータイプのオリジナル糸巻を採用しています

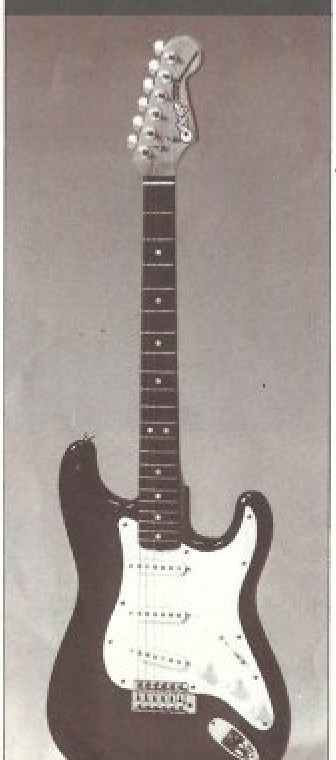


トラスロッドの調整ヘッド上部に付いているので、カンタンに調整ができます。

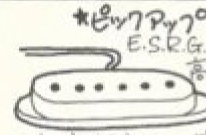


OS-600.630は、オールド・タイプになので、ネックの下側に付いています。

OS-600
¥60,000



★ピックアップ



E.S.R.G.オリジナル・ピックアップ。

高感度シングルコイル・ピックアップで、ハウリングがおきない様にマイクのコイルをロウでかためてあります。（フェンダー社もだって…）なぜかというますと、ボディーの振動や、アンプからの空気音圧振動により、コイルが動かされ、それによって、ハウリングがおきるからなのです。これによって、完全にシャット アウトします。ポールピースの材質はもちろんアルニコを使用しています。これによってバランスの良いパワフルなサウンドが生み出されます。





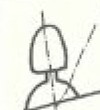
信頼度の高い3段切り換スイッチ（**OS-550、580**）。ハーフポジションは割合出しやすくなっています。君のテクニックで、うまくカツヨーしてみてネ!! クラプトンのサウンドもORANGEで夢じゃないのだ!!

★OS550基本カラー

- **YS**→イエロー・サンバースト
- **BL**→ブラック
- **CH**→クリーム・ホワイト

ナチュラルはOS-580になります。





OS-600は、すぐにハーフトーンが出せる様にハーフポジションスイッチになっています。普通使用する時には、3段切り換で使用出来（ハーフトーンの位置ではとまらずに）ます。ハーフトーンの使用したい時だけにハーフトーンの位置でとまる様なトクシュな設計になっています。非常に使いやすい5段切り換スイッチなのです。

★OS-600基本カラー

- **BS**→ブラウン・サンバースト
- **BKS**→ブラック・サンバースト
- **YS**→イエロー・サンバースト
- **BL**→ブラック
- **CH**→クリーム・ホワイト

ナチュラルはOS-630になります。

よ~く選んでイイものを手に入れよう!



★OS-600,630はヘッドが小さいオールドタイプ。糸巻はロートマチックのシャーラータイプです。

Orange



トルク調整が付いたヘッドマシーン。
これにより、バックラッシュ(ガタツキ)がないのです。
スムーズなチューニングが可能となります。
ギア比も高くなっていますので、微妙な音程調整が出来ます。
アソビがもし出た場合でも付属のレンチを使用して調整して下さい。
すぐにノーマルになります。



ベース独の強いテンションにたえ得る狂いの少ないメイプルネック。ローズ指板もあります。ローズ指板もかなりカッコイイョ!! フィンガーボードにふれた時のフィーリングがかなり違うョ! 君の好きな感じで選んで、音も多少違ってくるみたいです。あたりまえだネ!



ネックの断面



★ネック
オレンジのネックは細ネックのタイプになって弾きやすくなっていますが、太い方が好みの方はE.S.R.Gに注文してください。
時間は多少もらいますが、気ながにまってネ!!

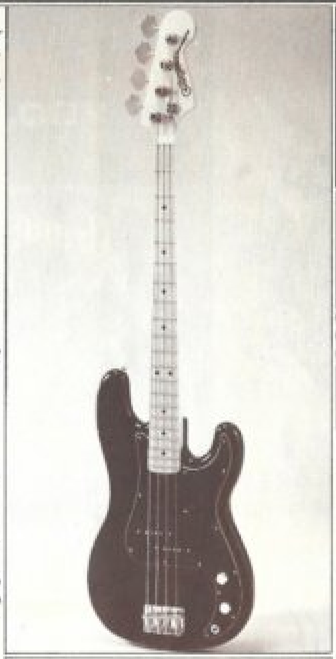
ベース弦のテンションをガッチリガイドする固定の確かな4点ドメになっています。
安心できるネ!!



きれいにカットされたボディーシェイプ。E.S.R.Gのプロデュースによる木工技術の高さがこれでわかってもらえると思います。
カラダにフィットして気もちがイイのです。
変なイミではナイのだ!!



★OP-500、OJ-500
基本カラー
YS→イエロー・サンバースト
BL→ブラック
CH→クリーム・ホワイト

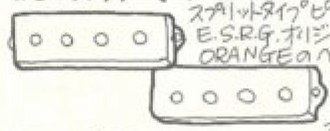




OP-500
OJ-500
¥50,000

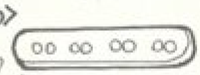


★ピックアップ <OP-500> デュアルポールピーススプリットタイプピックアップ。
E.S.R.G.オリジナルマイク
ORANGEのヘビーなサウンドの"ヒミツ"のひとつ。

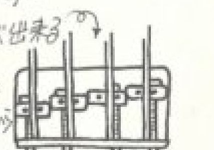


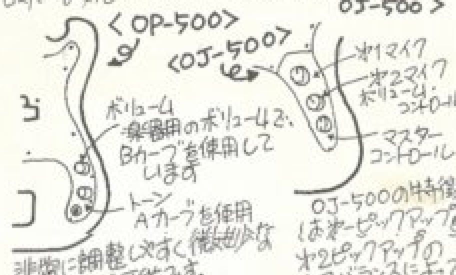
ポールピースにアルニコデュアルポールピースを使用し、これもハウリングカットのためコイルはロウで固定してあり、イージーなエンソーが出来るのです。

<OJ-500>
★★
デュアルポールピースJBタイプピックアップ。このマイクを2個使用しております



★★
正確なオクターブ調整が出来るテールピースブリッジ。
調整は自分でやる様にしましょうネ! むろん工場から出来上って来た時には、完全に調整されてるけどネ。特に弦を変えた時には気をつける様にしましょう。<OP-500、OJ-500>





非常に調整しやすく微妙なコントロールが可能です。
フルに君のテクニックをクシしてネ。

OJ-500の特徴はオ1ピックアップとオ2ピックアップの音量バランスによってあらゆる音創りが可能なことです。



ボディのウラから弦を入れる様になっています。
現在のP.B.のモデルと違うところですネ。
★ ★



ウラがえして見ると。





OPO-520
¥52,000





★ピックアップ <OPO-520>
プレシジョンオールドピックアップ。
1950年代のモデルで非常にメリハリのきいた音が出ます。

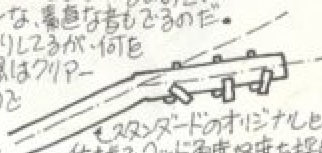
<★OPO-520 基本カラー
BS→ブラウン・サンバースト
BKS→ブラック・サンバースト
CH→クリーム・ホワイト
です。

OL-600
¥60,000

★ピックアップ。

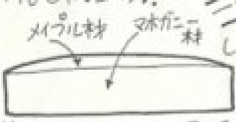


E.S.R.G.オリジナル高感度ハムバッキング・ピックアップ。ハムバッキング・ピックアップ特有のディストーションサウンドもバッチリ出るのです。
さらに、ハムをひろわないので、きれ〜な、素適な音もでるのだ。
…てな風にもったいぶったりしてるが、何をかくそう もともとの発想はクリアーサウンドが目的だったのでありました。エヘン!!



もスタンダードのオリジナルと同じ仕様でヘッド角度18度を採用しています。ヘッド形状は小型のオールドタイプ。

なるほど!



★単板削り出しのアーチド・トップ
マホガニー材の部分はスタンダードのオリジナル通りの、上下のハギがないワンプライなのです。
このコストパフォーマンスの高さを見て下さい。この様な基本の良さの中からコシのあるレスポールサウンドが生まれるのです。

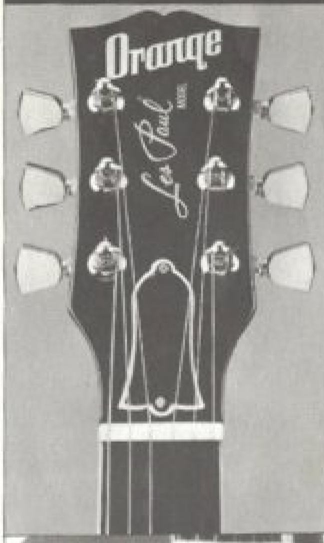


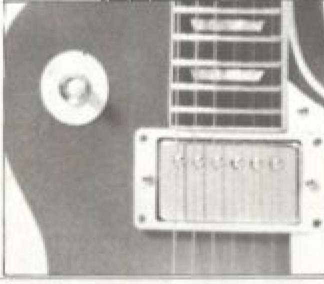
非常に弾きやすいのだ!!
ネックはスタンダード・オリジナルと同じ、マホガニーワンピースネック。
指板はローズです。

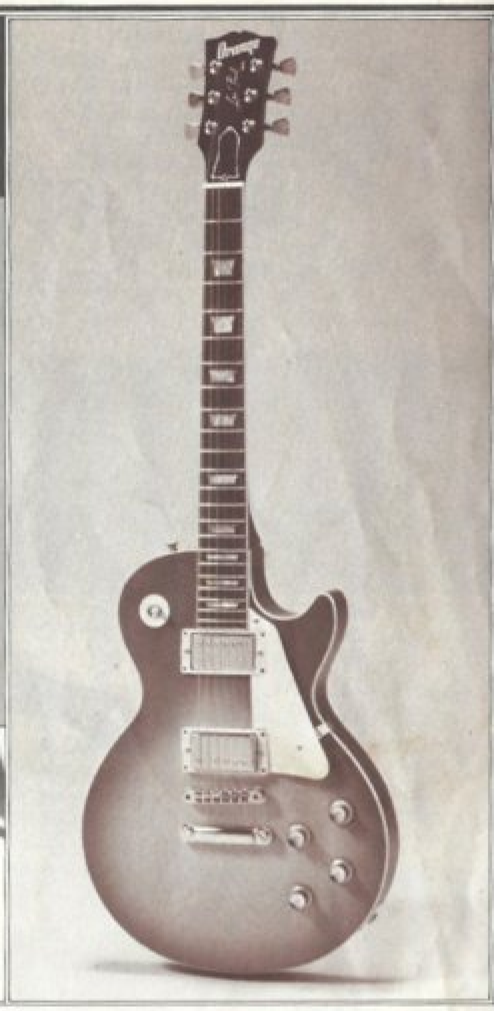


★OL-600
基本カラー
BS→ブラウン・サンバースト
CS→チェリー・サンバースト
BL→ブラック

これで、君のさがしてるものが見つかったかな?







高層ビルをバックにしちゃってなかなか気取った写真だけど、この車はキズだらけなのだ!
何か所キズが有るか、みんなでさがしてみよう!!
正解の方にはORANGEから何かプレゼント…したいケド、車の後側までは見えないから安心したりして…。



ORANGEのエレキはフェルナンデスのプロデュースのスタッフも加っているのです。
ORANGEのエレキはこの車でお店に配達されますヨ〜ン!!
ORANGEとフェルナンデスのエレキは兄弟なのです。
お兄ちゃまの言う事をよくきいてま〜す!



Electric Sound Research Group

〒161 東京都新宿区下落合2−14−26 (株)フェルナンデス内 tel. 03(950)8141(代)　〒531 大阪市大淀区中津南通4−8−5 tel. 06(458)2245(代)